



発行所
岡崎市立葵中学校
(電話 21-0171)
(FAX 21-0172)

10月号

先輩から学び、
先輩を超えようと努める葵中生

校長 柴田 昌一

夏休み中、感染症や熱中症、台風の接近などを心配いたしました。しかし、皆様のおかげで二期期の活動を順調に進めることができている。

さて、私が葵中学校に赴任した際に「あれ」と思ったことがあります。その一つが、校舎の二階に三年生の教室があったことです。以前、葵中学校に勤めていたときは、最上階である四階に三年生の教室があり、二階は一年生の教室でした。葵中学校で三年生を下の階にしたのはなぜなのでしょう。その意図を私なりに考えました。正解は分かりませんが、「後輩にとって、先輩のフロアを通して教室へ行くことで、先輩から学べることがあるから」が理由の一つではないかと思っています。

体育大会では、三年生が「葵の舞」を演じました。これは、平成二十二年から始まり、今年で十三年目になります。三年生は卒業生から受け継ぎ、四月から練習を重ねてきました。皆さんはどのような練習風景を想像しますか。私は、体育館に生徒が集まり、生徒の前で教師が舞の動きをやってみせ、その動きを生徒が見て覚えるのであろうかと思っていました。

ところが、実際に体育館へ行ってみると、生徒たちは少人数のチームに分かれ、卒業生から学んだことをもとに、自分たちで話し合い、動きを確認し合っていたのです。体育館以外の場所でも活動をしているチームもありました。先輩から受け継いだ衣装を点検して自分たちで補修したり、旗を美しく見せるために持ち方や動きを自分たちで工夫したり、いつでもどこでも練習ができるようにと自分たちで動画を作っていました。

体育大会当日に「葵の舞」を参観された皆さん、「葵の舞」をご覧になり、どのように感じ

られましたか。先輩から受け継いだことをもとに自分たちで創造し、新たに作り上げた「葵の舞」はどうだったでしょうか。心一つに精いっぱい演技を終え、皆様から大きな拍手をいただいたとき、生徒は大きな自信を得て、今後の生き方の励みになったと思います。

その後、新人戦がありました。激励会では二年生が三年生から部旗を引き継ぎ、ハンドボール部の森田主将が、すべての主将を代表して、「三年生から受け継いだ部を発展させる」という決意を述べました。三年生の熱い思いを新チームの二年生と一年生が受け止め、成長しようとしていると感じました。

新人戦当日、応援のために各試合会場へと足を運んでみて、分かったことがあります。それは、チームが劣勢の際に「ベンチの指導者をよく見るチーム」と、「選手同士がアイコンタクトや仕草、声などで励まし合い、作戦を確認し合い、気持ちを盛り上げようとするチーム」があったことです。葵中学校のチームはどうだったかということ、後者のように選手同士でコミュニケーションをとっているチームが多かったです。

実は、このスタイル、三年生が総体や市長杯で行っていました。後輩たちは先輩たちの姿から学び、引き継ぎ、自分たちで考え、仲間とプレーするスタイルを行っているのだと確信しました。もちろん、試合ですから勝ち負けでしょう。しかし、その悔しさを謙虚に受け止めるようとしている葵中生に拍手を送ります。そのような姿勢は、いずれよい結果につながるかと信じています。

二期期も半分が過ぎようとしています。三年生のフロアからは、学習に取り組む際にぴりぴりとした空気を感じます。このめりはりがよいと思います。自分の進路に向けて頑張る三年生の姿から、後輩たちは今も多くのことを学んでいることでしょう。



葵中学校体育大会
 威風葵 大望と野心
 巻き起こせ！葵旋風
 令和四年九月一四日(水)・一七日(土)

3年			2年			1年			競技
女子	男子	総合	女子	男子	総合	女子	男子	総合	
5組	4組	5組	4組	6組	4組	5組	6組	4組	優勝
3組	5組	3組	5組	4組	6組	3組	4組	5組	2位
/	/	2組	/	/	5組	/	/	6組	3位

熱き良き体育大会

一年五組

僕は学級対抗リレーのアンカーを務めることになりました。体育の授業で練習をしましたが、バトンがうまく繋がりません。原因を考え、渡すときの距離やスピード、腕の高さを互いに意識しました。二年生との練習では、バトンがうまく繋がり、先輩についていくことができて大きな自信になりました。



それでも、当日は緊張で心臓が飛び出そうでした。第三走者から二位でバトンをもらいスタート。一位の背中だけを見て夢中で走りましたが、あと一步のところまで届かず悔しい思いをしました。

しかし、この全力で走り抜けたリレーをはじめ、白熱した生徒会種目など、初めての体育大会ではクラスの絆を深めることができました。

素敵な思い出

二年一組

私のクラスでは「全力満開」という言葉を胸に、競技や応援に取り組みました。今年の体育大会で特に心に残っていること、それは応援旗の部で優勝できたことです。リーダーを中心に仲間と協力し、ひとつのものを作り上げる。大変な道のりだったからこそ、完

成したときの達成感は今でも忘れられません。総合成績の発表中、私のクラスは入賞できず静かな雰囲気でした。しかし、その後の応援旗の部

で二年一組が呼ばれたときには、驚きと喜びで教室にみんなの笑顔が広がりました。今年の体育大会は、私にとって素敵な思い出となりました。



体育大会を終えて

三年五組

中学校生活最後の体育大会を、「最高」の結果で終えることができました。はじめの頃は、誰がどの種目に出場するかさえ決まりませんでした。調整をしてくれた体育委員、勇気を出して種目に挑戦してくれた仲間があって、この結果に結びついたと思います。また、体育大会に向けた日々の中で、助けてくれた仲間、声を掛けてくれた仲間、存在に気付くことができました。



記録だけでなく記憶にも残る行事にすることができ、感謝の気持ちしかありません。残りの中学校生活も「最高」の仲間と共に充実させていきたいです。

伝統を受け継ぐ

三年五組

コロナ禍でいろいろな行事が思うように行えない中、私たちは中学校生活最後の体育大会を迎えました。普段お世話になっている人への感謝の気持ち、伝統を受け継ぐという気持ちを胸に、日々の練習を頑張ってきました。昨年の卒業を祝う会で踊った人は、それぞれの学級で中心となって教え合ったり、お互いの舞の動作を確認したりするなど努力を続けてきました。本番では、自分たちができる最高の舞ができたと思います。私自身、本番で悔いのない踊りができたとは言いい切れず、思うようにいかなかったことも多かったけれど、学年全体で、みんなで一生懸命踊りきり、私たちにしかできない葵の舞が表現できてよかったです。

旗を引き継ぎ、いざ僕たちの時代へ

第五回岡崎市中学校新人総合体育大会

九月二十八日(水)～三十日(土)

新人戦の記録

ハンドボール部

剣道部男子

水泳部女子

優勝

【個人の部】

陸上男子

四×一〇〇m R 優勝

一〇〇m H 三位

一〇〇m H 三位

走り高跳び 三位

陸上女子 三位

二〇〇m H 三位

一〇〇m H 三位

水泳男子 三位

一〇〇m 平泳ぎ 優勝

五〇m バタフライ 三位

水泳女子 優勝

二〇〇m 自由形 優勝

一〇〇m バタフライ 優勝

五〇m 平泳ぎ 二位

四×一〇〇m R 二位

四×一〇〇m F R 三位



応援を力に

ハンドボール部

僕たちのチームの目標は、「周りから応援されるチーム」になることです。が、応援が本当にチームの勝利につながるのか疑問に思っていました。しかし、新人戦での試合を終えて、応援はプレーヤーにとってとても力になるものだと思えることができました。新人戦の優勝は、応援あつてのものだと感じています。これからも応援されるにふさわしいチームを作っていきたいと思えます。

上を目指して

サッカー部

新人戦は、延長戦の末、一対二で二回戦敗退という悔しい結果に終わりました。しかし、チームの目標である「あきらめない」「声を出す」は、部員全員で守ることができたと思います。僕が公式戦でスタメンに選ばれたのは、今大会が初めてでした。ピッチに立つと、ピッチの外から見ているときとは違い、試合を終えた後の悔しさを今まで以上に強く感じました。これからチームで同じ目標をもち、上を目指してがんばります。



努力は裏切らない

陸上部男子

新人戦を終えて思ったことがあります。それは、努力は裏切らないということです。平日の部活動では、個人の記録を伸ばすため、繰り返し個人種目を練習してきました。新人戦では、その成果が出てとてもうれしかったです。これからもいろいろな大会があります。一人一人が自分の記録を伸ばしていきけるように、さらに努力を積み重ねていきたいです。

仲間と努力する

陸上部女子

初めは記録が伸びず悩むことがありました。でも、たくさん練習し、大会や記録会に積極的に参加することで、自己ベストを出すことができるようになりました。今、多くの部員が記録を伸ばしています。また、私たちは、短距離四人、長距離四人の二年生全員で、部活を引っ張っているという思いが強いです。ぶつかり合うことがあっても大切な仲間です。これから引退までの時間を大切にしていきたいと思えます。

敗戦から学んだこと

バスケットボール部男子

新人戦では、二回戦敗退という悔しい結果に終わりました。ただ、今回の敗戦から学んだことがあります。それは、声を掛け合うことの大切さです。声を掛け合うことで、思いを伝えることはもちろん、場を盛り上げ、雰囲気を感じることができるといふことを感じました。今回の結果をしっかりと受け止め、よりチーム内で意識を高くもち、競い合い、次こそは優勝を目指します。

悔しさを生かして

バスケットボール部女子

先輩方が引退してから初めての公式戦である新人戦。キャプテンとしてみんなを引っ張っているか不安でした。試合が始まり、緊張していたこともあり、思ったようなプレーができず、点差が開いてしまいました。それでも最後まで諦めずに全力でプレーし、最後はこのチームらしいプレーをすることができました。結果は負けてしまいましたが、この悔しさを次の大会に生かせるように、これからがんばっていきます。



無駄にしない

卓球部男子

一点でも多く取ることを目標に戦った新人戦。惜しくも入賞することはできませんでした。あのとき、こうしていればよかったという気持ちはいくらでもあふれてきます。しかし、後悔するだけでは、次に負けません。負ける無駄にしないためにも試合を振り返り、足りないところを改善していこうと思います。次は入賞できるように部員全員でがんばっていきます。

一球入魂の大切さ

卓球部女子

新人戦では、予選を通過することができず悔しい結果となってしまいました。ですが、私たちのもっている力を尽くし、チーム全員で最後まで戦いました。改めて、日々の練習への取り組みや一球一球に気持ちを入れ込むことが大切だと感じました。今回の反省や気づきを生かし、「一球入魂」を大切にしていきたいと思います。

自分たちの実力を知って

ソフトテニス部男子

僕たちは、大会で仲間と声を掛け合い、一球、一球を大切にプレーをしてきました。いいプレーをしたら「ナイス」と声を掛け合い、ミスをしたら気持ちを切り替え、前向きに考えプレーをしました。しかし、試合中思うようにラリーが続かず、サーブでのミスも多くなってしまいました。結果は、二回戦敗退です。今回、負けた悔しさを忘れず、自分たちの改善すべきところを常に意識しながら今後の練習に取り組んでいきたいと思います。

仲間との思いを胸に

ソフトテニス部女子

私たちはこの大会で勝つことができませんでした。初戦の相手が強いということでもみんないつもより緊張し、自信をもつことができなかったことが敗因です。その中でも仲間と声を掛けあう場面もたくさんあり、ペアで緊張を乗り越えようと支え合うことができた。この大会で得た、支え合う姿勢と負けたことへの悔しさを忘れず、応援してくれる仲間の思いにこたえられるようこれからの練習に生かしていきます。



次に向けて

野球部

僕たちは新人戦の試合中お互いに声を掛け合いながら、よい雰囲気や試合を進めることができました。しかし、相手チームの追加点などから練習でしてきたことが生かせなくなり、失点を重ね、敗れてしまいました。

これからは、次の試合に向けて、短い練習時間を大切に、部員全員で団結し、試合に勝てるようにがんばっていきなす。

自分たちが目指す姿へ

バレーボール部

私たちにとって初めての大会。相手に追い詰められ苦しい場面が何度もありましたが、最後まで全員でボールをつなぎ、自分たちの目指す「攻めるバレー」をやりました。結果は負けてしまいましたが、この大会で成長できたと思います。夏の市長杯に向けて、「攻めるバレー」で勝利を目指しがんばります。



成長し続ける水泳部

水泳部男子

先輩方が引退して初めての大会。最初は不安がありましたが、本番では、

リレーも個人競技も多くの人がいいタイムを出すことができました。これから始まる冬の陸上トレーニングでは、みんなで声をかけ合い努力して団結力を深め、次の大会でもよい結果が出せるようにがんばりたいです。

深まった絆

水泳部女子

新チームになり、主将として初めての新人戦。チームのみんなと協力し、励まし合いながら厳しい練習を乗り越え、迎えた大会当日。緊張感のある中で、一人一人が今まで以上に結果を残すことができました。女子総合三位を勝ち取ることができ、うれしかったです。次の大会に向けて、一人ひとりベストが出るようにがんばります。

緊張と不安から学んだこと

ソフトボール部



私たちは、一つ一つのプレーを大切にし、勝ちという目標を立てて戦いました。しかし、緊張や不安から練習ではいつもできていたことができなくなり、簡単なアウトすら難しく感じてしまいました。今回の試合で感じた緊張や不安をなくすため、日々の練習から意識を高め、真剣に取り組みたいと思いました。

これからの大会で、少しでもよい成績を残せるようにがんばります。

新たな課題が見つかった新人戦

剣道部男子



新人戦、惜しくも三位という結果でした。優勝するためには何が足りなかったのか。試合の動画を見てみると、改善すべき点が次々と出てきました。総合体育大会まで約八か月。見つけた課題をもとに、みんなを声を掛け合い練習していきたいと思います。次こそ、更に上へ行くように日々励んでいきます。

次に向かって

剣道部女子



私たちは、今回の試合で悔しい思いをしました。まだまだ自分たちが弱くことを実感し、一人一人の課題、そしてチームの課題が見つかりました。この課題を乗り越えるために、みんなと話し合い、アドバイスをし、多くの壁を乗り越えていきたいです。そして次の試合では、気持ちを一つにしてみんなが笑顔で終われるようにしたいです。

やり切った、最後の夏の大会・コンクール

市長杯

【団体の部】

二位

三位

バレーボール部

ハンドボール部

バスケットボール部男子

サッカー部

【個人の部】

水泳男子

二〇〇m背泳ぎ 二位

二〇〇m平泳ぎ 二位

水泳女子

二〇〇m個人M 二位

二〇〇m平泳ぎ 二位

【団体の部】

西三河大会

バスケットボール部男子

ハンドボール部

【個人の部】

陸上女子

走り高跳び 四位

水泳男子

二〇〇m個人M 三位

二〇〇m平泳ぎ 三位

愛知県吹奏楽コンクール

西三河地区大会

銀賞



南海トラフ地震対策
避難訓練
令和四年九月五日(月)

令和四年度後期生徒会役員

役員	男子	三年二組	会 長	三年二組
	女子	三年三組		三年一組
		三年五組		
		三年一組		
		三年二組		
		三年六組		

表彰の記録

市民陸上大会
男子
四×一〇〇mR 優勝

一〇〇m 二位
一〇〇mH 二位
走り高跳び 三位
女子

二〇〇m 優勝
夏季岡崎市民総合卓球大会
中学生男子の部 三位

愛知県吹奏楽コンクール
西三河北地区大会 銀賞
吹奏楽部
部活動奨励賞

市主張コンクール 優秀賞

今後の予定

- 二月 第二回岡崎学力検査(三年)
- 八日(火) サイエンスセミナー(二年)
- 九日(水) 委員会
- 一日(金) 岡崎のハーモニ
- 二日(土) 期末テスト
- 六日(水) 学校保健委員会
- 二日(月) ひまわりプロジェクト
- 二四日(水) 授業公開
- 二八日(月) 授業公開
- 二二月
- 五日(火) あおいMAXII
- 六日(水) 八日(木) 保護者会
- 九日(金) ひまわりプロジェクト
- 一五(月) 大掃除
- 二〇日(火) 長距離走大会
- 二一日(水) 第三回岡崎学力検査(三年)
- 二二日(木) 給食終了
- 二三日(金) 終業式

葵が丘



「自分事」として取り組む

開発主任 古家 茂枝子

コロナ禍でさまざまな事が縮小される中で、葵中の伝統として残してほしいと思うのが「葵の舞」である。先輩たちから振付や葵の舞への思いを引き継いだ一部の三年生が中心となり、全員が踊れるように生徒たち同士で教え合う過程に大きな学びがあるからである。「人に教える」ということは、相手の立場や思いを理解することでもあるので大変難しい。教える生徒に対しては、振付が分からない仲間に対して、相手の立場に立って試行錯誤しながら教え方を工夫することは大きな学びにつながる。また、教えてもらう生徒にとっても、「分からないから教えて」と自分から言うようになることも大きな成長だと思う。自分の苦手な部分を知って、できないことは周りの人に助けてもらえるようにSOSを出す力も社会の中で必要な力である。

葵の舞は、一人一人が「自分事」として自らの思いを込め、全力で舞う姿があるからこそ感動を生む。自分事として問題に取り組み、工夫しながらそれを乗り越えた体験は自信となり、将来への原動力となる。授業や部活動、係活動など、どんなことも自分事として本気になって取り組む経験をたくさんして、みんなの輝く未来を自分たちの手につくってほしい。